

## Anti human LXR $\beta$ mouse monoclonal antibody

LXR $\beta$ : Liver X Receptor  $\beta$

|              |  |
|--------------|--|
| 製品コード        | PP-K8917-00<br>旧コード Z2K8917H   |
| Clone No.    | K8917  |
| Lot.         | A-2  |
| 濃度           | 1mg/mL   |
| 容量           | 100 $\mu$ L  |
| Ig class     | G2a  |
| Nomenclature | NR1H2  |
| Genebank     | U07132   |
| 由来           | ヒトLXR $\beta$ (2-86 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。 |
| 特異性          | ヒト LXR $\beta$ と特異的に反応する。ヒトLXR $\alpha$ には反応しない。ラットLXR $\beta$ と交差反応しない。その他の動物種との交差反応は未検討。                               |
| 精製法          | 硫酸塩析法  |
| 溶媒           | 生理的食塩水 (防腐剤として0.1% Na <sub>3</sub> 添加)   |

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

|                  |                            |
|------------------|----------------------------|
| Western Blot     | 可<br>参考使用濃度 2 $\mu$ g/mL   |
| 非還元 Western Blot | 可<br>参考使用濃度 2 $\mu$ g/mL   |
| ELISA            | 可<br>参考使用濃度 0.1 $\mu$ g/mL |
| 免疫沈降             | 可<br>参考使用濃度 適宜調整してください     |
| Supershift Assay | 未検討<br>参考使用濃度 -            |
| クロマチン免疫沈降        | 未検討<br>参考使用濃度              |
| 免疫染色             | 未検討<br>参考使用濃度 -            |

**保存方法** 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8 $^{\circ}$ Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20 $^{\circ}$ C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

**参考文献** Watanabe Y, et al., Nuclear Receptor, 1: 1, 2003.  
Pavan L, et al., Endocrinology, 145(10): 4583-91, 2004.

**備考** 溶媒に含まれるNa<sub>3</sub>は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

May 10, 2007